

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動 推進協議会だより(平成28年7月号)

〔第2次ステージ運動スローガン〕

高めよう安全意識 加速させよう復旧・復興 達成しようゼロ災害

暑い日が続きますが、熱中症対策は万全ですか？

宮城労働局

平成20年から平成27年までの8年間で職場における熱中症による休業4日以上災害は、72件（うち死亡5件）発生しています。

① 年別の発生状況（図1）

建設業では、最も発生件数の多かった年が平成24年の6件、8年間の平均は2.9件です。

② 月別の発生状況（図2）

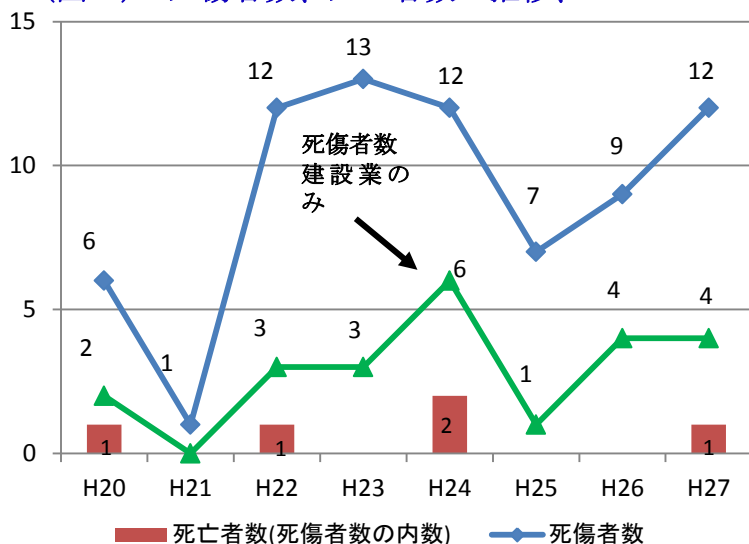
熱中症による災害は、7月と8月に68件、94%と集中して発生しています。

③ 業種別の発生状況（図3）

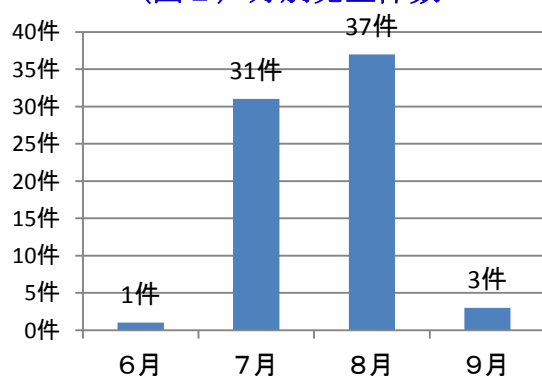
建設業が最も多く23件、31.9%、次いで道路貨物運送業が12件、16.7%の順となっています。

※対策については、宮城労働局HP「宮城の熱中症対策を
更新しました」で検索してご覧ください。

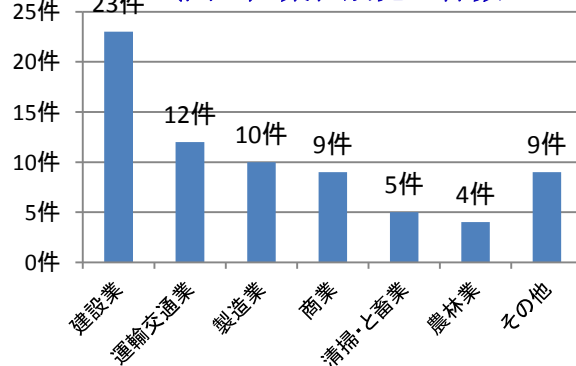
（図1）死傷者数、死亡者数の推移、H20～H27



（図2）月別発生件数



（図3）業種別発生件数



「熱中症による死亡災害事例」

発生年月	業種	年齢	概要
平成20年8月6日	土木工事業	33歳	被災者は、架設中の橋桁上で足場板の運搬作業中に具合が悪くなり転倒、意識を失い、翌日死亡した。
平成22年7月21日	警備業	49歳	被災者は、ガス工事現場において、交通誘導の後、機材後片付け誘導に従事していたが、午後5時過ぎに倒れているところを発見され、その後死亡した。
平成24年7月28日	建築工事業	41歳	被災者は、土間配筋作業中、午後2時頃に暑さを訴え、飲み物の自動販売機に向かって歩いていたら倒れ、病院に搬送されたがその後死亡した。
平成24年7月28日	土木工事業	53歳	被災者は、ブロック積みの工事現場において、午前10時頃の休憩後に具合が悪くなったため休憩し、午後4時頃に帰宅したが途中で意識を失い、病院に搬送されたが翌日死亡した。
平成27年7月14日	その他の事業	51歳	山中に設置された雨量計の月次点検作業を行うための登山の途中、被災者が体調を崩していたが、下山途中で転倒し、病院に搬送され午後2時20分に死亡した。

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)

「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会」の開催について

建設業における労働災害ゼロに向けた意識の高揚を図り、早期復旧・復興に寄与することを目的とした「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会」を下記により開催いたします。

多くの建設業関係者の方々が参加されますようお願い申し上げます。

申込みは、みやぎ復旧・復興工事ゼロ災推進協議会の関係団体を通じお申込みいただくか、直接、宮城労働局HPの「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動」コーナーに掲示されている申込書をダウンロードしていただき、健康安全課あてFAXによりお申込みをお願いいたします。

記

- 1 日 時：平成28年9月6日（火） 13:30-16:30
- 2 場 所：日立システムズホール仙台
仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
- 3 基調講演：「復旧・復興工事における安全対策」
～最近の災害事例から見た現場管理のウィークポイント～
宮城労働局労働基準部健康安全課長 齋藤 俊一 氏
- 4 特別講演：「効果的なKYの実践」
中央労働災害防止協会 教育推進部
ゼロ災推進センター所長 鈴木 博仁 氏
- 5 事例発表：「現場での取り組みとその環境づくり」
（株）小野良組 建築部 技師 大宮 知恵 氏

※会場の駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

「見える化好事例の募集について」

(例)

今年度、ゼロ災運動の上半期の取り組みとして、現場の「見える化好事例」を募集しています。現在、建設事業者や公共発注機関から併せて69の好事例の提出をいただいています。

現場で工夫した好事例等がありましたら、情報提供をお願いいたします。（※切8月末）

情報は、宮城労働局HPの「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動」コーナーから「見える化好事例を募集しています」（検索）より様式をダウンロードしていただき、メールにより事務局（健康安全課）あて送付をお願いいたします。



みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)